

SSL アプライアンスでの SNMP の設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[要件](#)

[設定](#)

概要

SSL アプライアンスで Simple Network Management Protocol (SNMP) を有効にすることができます。SSL アプライアンス モデル 1500、2000、および 8200 は、標準の SNMP MIB2 テーブルをサポートし、プロトコルの SNMP v2c バージョンを使用します。このドキュメントでは、SSL アプライアンスで SNMP を有効にするための手順を示します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントでは、次のコンポーネントを使用しています。

- SSL アプライアンス 1500、2000、8200
- ソフトウェア バージョン 3.6 以降

Requirement

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

SSL アプライアンスで SNMP を設定するには、アプライアンスの Web ユーザ インターフェイスを使用します。手順は次のとおりです。

1. [Platform Management] メニューに移動し、[Management Network] を選択します。

注: プラットフォーム管理メニューには、SSL アプライアンスのホスト名が表示されます。
この例では、ホスト名は cisco です。

2. 鉛筆アイコンをクリックして設定を編集します。[Edit Management Network] ウィンドウが表示されます。
3. 該当するフィールドに入力し、SNMP を有効にして、SNMP 管理システムに適切な SNMP パラメータを設定します。[OK] をクリックします。
4. プラットフォーム設定の変更を適用します。